



Excel への信頼と批判:

分析を改善する 5 つのストラテジー

分析や報告書の作成ツールとして、一般的に Excel が好まれることは間違いありません。操作性はもちろん、ひな形や図の作成が時間をかけず簡単にできる点や、それぞれを独立した形で作成できる点がユーザーに愛されています。

Excel を使うと、車を運転する時のように、ユーザーが操作の主導権を握れます。ただし SUV 車が必要な時にスポーツカーを運転しなければならない状況と同様に、分析に Excel を使用することは、ある意味機能が充実しすぎているが、別の意味では機能がまったく足りていないことを意味します。古いデータは更新が困難であることや、分析では間違いが起こりやすいこと、社内で同じファイルの様々なバージョンが使用されてしまう原因になることやかなり手作業が必要なことは、Excel のユーザーが抱える不満のほんの一例にすぎません。実際に分析を行う代わりに分析の準備に時間をとられている方は多いでしょう。

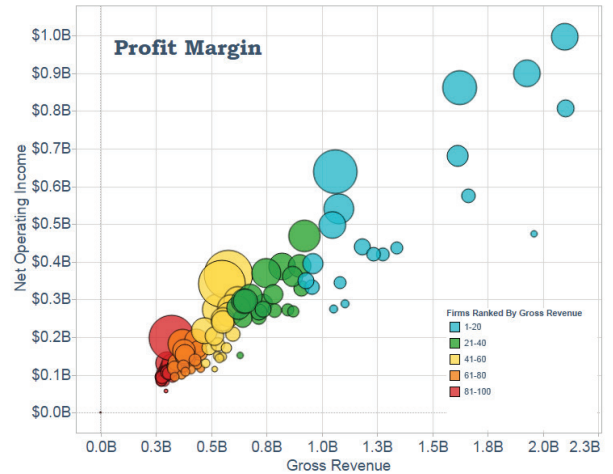
こういった問題があるにも関わらず、多くの部署、そして時に全社規模で Excel が使用されています。手軽に使用できる Excel に絶大の信頼を置き、一方で Excel の問題を批判しているのです。

Excel に勝る方法があります。この方法は簡単に個人単位での業務を改善するだけでなく、大規模な企業向けの変更を実現するものです。本書では、主に Excel の利点を犠牲にすることなく、より優れた方法で分析を行うためにユーザーができる改善点を取り上げます。

1 不必要な分析をなくす

膨大な数の報告書やプレゼンテーションを作成することを止め、意思決定にあたり本当に必要なもの、もしくは社内で本当に必要とされているものみに重点を置くことで、分析すべての質が向上します。手元に保存されている各種分析報告書の一覧を作成し、重要な分析報告書と各報告書の更新頻度を明確にします。そうすることで、重要な評価基準やチームに提供されている価値に関して理解を深めることができます。

さらに、チームの作業量を軽減し重要な作業に集中できるようになるだけでなく、これまで特定されていなかった重複作業をなくすこともできます。



分析においてビジュアル面のベストプラクティスを活用することは、無意識のうちに読み手にとって魅力的な報告書を作成できることを意味します。

2 Excel をスマートに使いこなす

何度も何度も繰り返し同じ作業をすることで手がいっぱい、作業を中断し、もう少しいい方法はないのか考えることを忘れがちです。Excel に関してすべての機能を使いこなせるユーザーでない限り、より良い方法はおそらく存在します。

- ・ **オンライン ヘルプを活用!** Excel にはいくつかの優れた事例が装備されています。ただし、ただ読むだけではなく、事例を自分でやってみてください。Microsoft がヘルプで提供しているデータと同じものを使用して、スプレッドシートを作成し、ヘルプ ファイルを複製してください。読むよりも実際にやってみることの方が身に付きます。
- ・ **困ったら検索。** 自分が抱えている膨大な数のデータに関する問題とまったく同じ問題を抱えている人がどこかにいて、インターネット上でその解決方法を説明しているかもしれません。「ピボット テーブル」、「Excel アドイン」、などを検索してみてください。相当数の情報が表示され、驚かれることでしょう。
- ・ **「分析の本質」を理解する。** 「検索」関数、ピボット テーブル、日付関数、検索/置換、小計、名前付き範囲、キーボード ショートカットなどのタスクや関数は、分析の時間短縮に役立ちます。

自分とチームのスキルを評価し、適切なレベルのツールを導入する。例えば、データウェアハウスや一元管理されているデータベースに接続するために「ODBC (Open Database Connectivity)」規格のドライバーを使用できます。これは効果的ですが、要件が厳しいのが現実です。事実、1) 接続されている状態であること、2) データを理解していること、さらに 3) 100 万行未満 (Excel 2010 の場合) に行を結合または削除すること、が必要となります。社内の分析担当者が Excel マクロのエキスパートやデータベース プログラマーになることを期待しないでください。マクロやプログラミングといったサポートが必要な場合は、非常勤の請負業者やデベロッパ経由で技術的な部分をカバーしてください。

3 細かいことに配慮する

現代におけるデータに関する課題は、情報がないことではありません。情報を理解し、不要なものを排除し、整合性を確保する方法が課題なのです。一人一人が自分のやり方で作業をするため、「真実」が「様々なバージョン」で存在してしまうということがよく起こります。Excel はこれをさらに悪化させます。つまり、スプレッドシートで論理エラーをしている場合、多くの不正確な情報や誤解を招く恐れのある情報が存在する可能性があるということです。事実、業界ではスプレッドシートの 90% にデータの誤りや論理エラーが含まれていると想定されています。このため、品質確認と明確なコミュニケーションが必要不可欠となります。

言うまでもなく完璧な人間はいません。だからこそ、決して自分が整理したデータや自分が入力した数式、自分が分類したデータは常に正確であると想定しないでください。作業を進める過程で、何度も品質確認を行ってください。正確なデータを提供すること、入手経路を説明できること、計算方法を提示すること、そしてこれまでの報告書と異なる理由を提供することが求められています。

列の名前、ファイル名などの命名やバージョン番号などに注意し、わかりやすい名前を付けるようにしてください。正確で明確な文書化が理想的です。命名や文書化にこれまで以上に注意を払うことで問題は解決しませんが、問題の軽減にはつながります。

Excel の操作について自分以外の人が持っている情報を過大評価しないでください。例えば、Excel にはファイル管理や変更履歴の機能があります。では、果たして Excel 使用者の何パーセントがその使用方法を理解し、従っているかご存知ですか。そんなに多くはありません。周りの人に知識を提供する側になるかは自分次第です。また、必要な情報を入手するため非常に明確でシンプルな方法で作業をするを選ぶのも自分自身です。

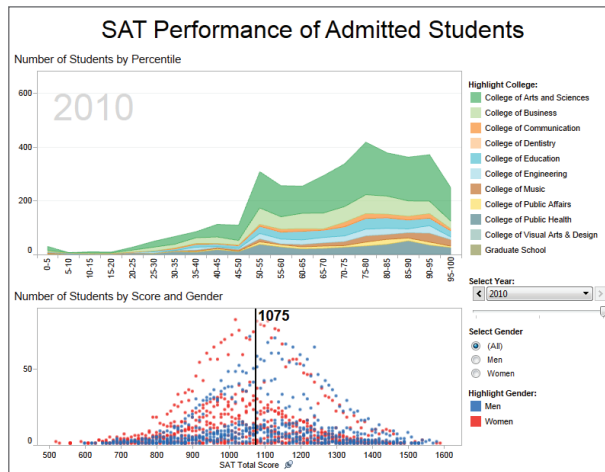
4 データをより有効に利用するため、社内のリソースと共に取り組みを行う

自分のデータと Excel を使用して行っている作業について、社内で話し合いを始めるには今が絶好のタイミングです。現在行っている分析を見せ、共有することで、役に立つ意見を得ることができ、より洗練された体系的アプローチを行うための準備を整え始めることができます。

御社の IT 部門の部門長と話をする時間を設けてください。多くの IT 部門の責任者は、セキュリティやガバナンスに関する問題で多忙ではありますが、彼らもまた、多くの報告リクエストを実行するより役に立つ安全なアプローチを提供することを望んでいます。彼らは多くの報告リクエストが結局何百もの Excel ファイルになり、社内のあちこちに保存されることを知っているからです。(一部の IT グループにとって最大の懸念事項は、いわゆる「スプレッドシート」(企業内に Excel ファイルがまん延している状態を表す TDWI による造語)を管理し、願わくばそれらを排除することです。)チームや御社の IT 部門は簡単に目標やリソースを調整できると言うのは簡単とはいえ、業務を改善する方法について話し合いを始めることはできます。

一部の企業にはすでに複雑で十分に活用されていないビジネス インテリジェンス プラットフォームがあります。これらの BI システムに関連する作業の多くは、再利用できます。(御社の BI システムはかなり高いレベルの実用性を提供していれば、Excel ではなく BI を使用するという前提から、ここでは御社の BI システムは実用性を提供するものではないと想定します。)

「現代におけるデータに関する課題は、情報が無いことではありません。情報を理解し、不要なものを排除し、整合性を確保する方法が課題なのです。一人一人が自分のやり方で作業をするため、「真実」が「様々なバージョン」で存在してしまうということがよく起こります」



求めている種類の分析のビジュアルの事例を使用してください。ご自身が現在行っている分析を見せ、共有することで、役に立つ意見を得ることができ、より洗練された体系的アプローチを行うための準備を整え始めることができます。

5 分析のやり方を作業により適したツールを導入した方法にアップグレードする計画を立てる。Excelには限界があるという事実を受け止める。

「ハンマーを持つ人には、すべてが釘に見える」という格言があります。これは分析と Excel に当てはまります。Excel を仕事で使用している人は、Excel 以外により適切なツールを持っていません。また、大抵 IT 部門は現場で必要なもの

に注意を向けていません。このため、Excel が適したアプリケーションでない場合にも、相当の時間を費やして、Excel が機能するように努力することになります。

しかし、周りを見てください。Excel 以外にもツールはあります。理想は、Excel と同じくらい使い易く、ソース データに直接接続するソフトウェアに頼ることです。一例ですが、Tableau Software (フルディスクロージャ - Tableau は本書のスポンサーです) は、既存の Excel スプレッドシートやデータウェアハウス、その他のデータソースに接続するスピーディーな分析および視覚化を実現するアプリケーションを作成します。このソフトウェアは、使い易く非常にわかりやすいアプリケーションの中でデータ エクスプロレーションとグラフィック ビジュアライゼーションを結びつけます。

目標は、データに関する質問をすぐに問い合わせ、リアルタイムで回答を得られるようサポートすることです。お客様はこれを「ステロイド使用中の Excel」と表現しています。HTM Corporation の Bill Attridge 氏は次のように話しています。「分析に Excel のピボット テーブルを使用する人は、メモをとっています。一度 Tableau を使ってしまうと、絶対に Excel ピボットテーブルには戻れなくなります。Tableau は分析に最適なだけでなく、分析を楽しい作業に変えてくれます」

最後に...

一部のユーザーは、永遠に Excel を信頼し、同時に批判することを止めないでしょう。分析のやり方は一夜で変わるものではありません。分析のための柔軟で安価な手法として Excel を使いたいと思うことは自然なことです。Excel には限界があることを認識しておく必要があります。心から分析報告書の数を減らすこと、Excel で新しい操作を学習すること、品質を重視すること、IT 部門と協力して今までにないより強力なソリューションを作ることに取り組めば、将来御社のニーズを満たすより強力で柔軟な分析環境を構築できるでしょう。

Tableau について

Tableau Software はお客様がデータを視覚的に理解できるよう支援します。Tableau を利用すれば、情報をすばやく分析、可視化し、共有することができます。Tableau を導入することで、オフィスでも外出先でもすばやくデータ分析を行えるようになったお客様は既に 12,000 人を超え、ブログや Web サイトでのデータ共有に Tableau Public を利用しているユーザーも数万人にのぼります。Tableau の機能についてお知りになりたい場合は、www.tableausoftware.com/trial から無料トライアル版をダウンロードしてください。